

多気町立図書館だより

TEL:0598-38-1133 (多気図書館)

TEL:0598-49-4500 (勢和図書館)

<https://www.town.takimig.jp/library/index.html>

～親子でリラックス・スキンシップ～ (親子向け講座)

疲れやストレスのたまった身体と心、ほぐしてゆるめましょう♪

親子でスキンシップ。ゆったりリラックス。親子でほっこり。

日時・場所: 勢和図書館・・・10月19日(日) 多気図書館・・・11月16日(日)

※詳細はチラシにて。

※申込みが必要です(申込は10/1(水)より)

『にほんのわらべうた①うめとさくら』
近藤信子/著 柳生雄一郎/絵
福音館書店

多気図書館

9月のカレンダー

□: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 おはなし会
7	8	9	10	11	12 おはなし おもちや	13 おはなし 団げつ
14	15	16	17	18	19 赤ちゃん おはなし 会	20
21	22	23	24	25	26	27 おはなし 団げつ
28	29	30 整理日	おはなし会 10:30～			

ブックスタート (のびのび) 9/26(金) 10:00～

～コーナー紹介～

●身体を作ろう! 労わろう!

暑さで疲れた身体をリフレッシュ!

●再確認! 防災のアレコレ!

いざという時のために、しっかり確認!

勢和図書館

9月のカレンダー

□: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 おはなし会 (0歳)	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13 おはなし会
14 ほん と カフェ	15	16	17 おはなし会 (1～3歳)	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27 おはなし会
28	29 整理日	30	おはなし会 10:30～			

～イベント紹介～

●夏休み家族共同作品展

とき: 8月31日(日)～9月7日(日)

●ほんととカフェ

とき: 9月14日(日) 13:00～16:00

コラボ: のことこさん、オーロラシーさん

●ほんととカフェ&歌のコンサート ※詳しくはチラシをご覧ください

とき: 10月5日(日) 13:00～16:00

コラボ: ホタルカゴさん、B'sshopさん

うた: 合唱団 薪翠(かかせみ)

FB・Insta → 「多気町立勢和図書館」

が「sejwaLib」で検索



9月のおすすめ本



『ひとり楽しむ鉄道旅 駅弁めぐり篇』 やすこーん: 著 玄光社 (291頁)

北は北海道から南は九州まで。駅弁を目的とした旅の案内本。
名物駅弁はもちろん、その地域ならではのお役立ち情報もたっぷり。写真もイラストも多数掲載されていて、旅へのワクワク感が増えることまちがいない。
松阪のあの有名な駅弁も紹介されています!

『あそびの生まれる場所 「お客様」時代の公共マネジメント』

西川 正: 著 ころから (318頁)

「何かあったら困るので...」。近年よく耳にする言葉。昔はできたことも、いろいろなことが制限されていきます。
そんな中でも、工夫し参加者を巻き込みながら「あそび」を生み出している人たちがいます。「何かあったら...」責任の所在を問うことはかりを考えるのではなく、もっとできることがあるのでは!



『炎はつなぐ めぐる「手仕事」の物語』 大西暢夫: 著 毎日新聞出版 (576.4頁)

日本の伝統工芸には職人の技と自然素材の材料がかかせない。そして作る過程で出る副産物を、びっくりするほど「捨てる」ということがない。その副産物を利用する次の伝統工芸家が存在するのだ。循環し、最後は土に還るものばかり。経済重視の使い捨てが主流の現代。思わずこれでいいのか?と立ち止まる。

だが、著者が旅の最後に出会った先で、これまた考えさせられる事が...

『まだ何になるかわからない』 キボリノコンノ: 著 実務教育出版 (712.1頁)

この本の表紙のカステラ。美味しそう～パクッ!と思わず食べてしまいそうになったそのあなた。実はこのカステラ、食べることはできないのです!!
木彫りアーティストとして活躍されている、キボリノコンノさんが誕生するまでの物語。著者の作品は驚かされるものばかり。絵本もあるので手にとってみてください。私たちの可能性は無限大! まだ何になるかわからない...



『奇のくに風土記』 本内昇: 著 実業之日本社 (F913.6頁)

紀の川の流れる音が清かに伝わる岩橋のお山。草花の採取に出かけた紀州藩士の息子十兵衛は、不思議な天狗と出会い...。江戸後期、小原桃洞に本草学を、本居大平に国学を学び、やがて紀州の藩医となる本草学者・群田翠山の少年時代からの成長を描いた物語。爽やかな読後感の時代小説です。



『生きる言葉』 俵万智: 著 新潮社 (914.6頁)

もんだいです! 「使えば使うほど増えていくものは?」
顔を見ずとも簡単にやりとりができてしまう時代。しかし言葉が軽くなった。というわけではありません。たった一つの言葉からもらう力がたくさんあります。相手に届く言葉とは。生きる言葉とは。

